心の豊かさと命の尊さ

福井県・若狭美浜

民泊体験、想い出すのは優しい笑顔とお母さんとつくる愛情たっぷりごはん

福井県美浜町には、日本の故郷の風景があります。山には木々が生い茂り、清らかな川や湖には魚が棲み、町の名の通り日本海に面した美しい浜が続きます。人々は自然の恵みをいただき、それを生業としてきました。

「若狭美浜はあとふる体験」は、このような資源を生かし、「漁業」「農林業」「自然・アウトドア」「味覚」「工芸・歴史文化」とバリエーションに富んだプログラムを整えています。

現代では、人とどう接し、どのように人間関係を構築すべきか分からない人が増えているようです。初めて訪れる土地で初めて会う人とコミュニケーションを図るには相手を気遣い、歩み寄る努力が必要です。学校という日常を離れ、初めて行う体験を通して、新たな自分を発見、またはそれまで気付くことがなかった仲間の長所を発見する子どもがいます。若狭美浜はあとふる体験では、体験することが目的ではなく、その体験を通したり、年々増加しています。

心のふれあう民泊家庭でありのままを体験

若狭美浜では、心を一つにボート体験

人と人との交流に価値があると考えており、その交流から生まれる「心の高まり」を大事にしています。

■民泊体験

ありのままの生活を共にすることで、「田舎の温かさや人とのつながりの大切さ」を伝えたいと08年度から受け入れを始めた民泊体験は、約100軒の簡易宿所登録があり、年々増加しています（13年3月現在）。

子どもたちは、初めて出会う新たな家族と緊張の面持ちで対面します。けれど、一緒に食事の準備をし、みんなで食卓を囲んで団欒するうちに、互いに歩み寄ろうとすることから交流が生まれます。ここで、大人や異年齢の他人との交流の方法を学ぶのです。受け入れ家庭も、たった1泊とはいえ、子どもたちの話を聞くうちに親しみを覚え、別れの際には「またおいで」と声をかけます。

修学旅行が終わり、日常に戻った生徒たちから、卒業後の進路についての手紙が届くことがあります。受け入れ家庭では我が子のように彼らの成長や進学、就職を喜びます。偶然結ばれた数日間の縁がそれきりにならず、絆がつながっていくところに美浜の民泊体験の魅力があります。

■ボート体験

若狭美浜はあとふる体験特有のプログラムがこのボート体験。チームワークの大切さを肌で感じ、人間関係を構築する能力を育むことができる人気プログラムです。

漕ぎ手4人とコックス（舵とり）1人が艇に乗り込み、湖を漕ぎ進みます。「一艇あり て一人なし」という言葉のように、1人が頑張っても速く進まず、全員の呼吸が一つになった時、初めて湖面を滑るように進むことができます。それぞれが自分の役割を理解し、その役割を全うしようと努めることで、信頼関係が生まれ、体験を終えた後には仲間と一つになった喜びを感じられること間違いありません。

■大敷網体験・食体験

大敷網は、若狭湾の豊かな海に敷き広げておいたスケールの大きな網を、漁師が船で取り囲み、引き上げていく若狭地方の伝統漁法です。漁師と一緒に網を巻き上げることで、漁業の大変さや喜びを学ぶことができるキャリア体験の機会となります。食育体験では、先刻までピチピチと飛び跳ねていた活きのよい魚を自分の手でさばくことで、まさにその命を自分がいただいているという実感が生まれます。

◇◇◇

若狭美浜はあとふる体験では、初めて出会う人と交流を深め、学校生活をともにする仲間と同じ達成感を味わうことができます。一生に1度の修学旅行。「ほんもの」の体験交流を通して、心の平和、人間関係の構築能力、豊かな人間性を育んでいただきたいと願っています。

農家の人に教わり花作業体験

若狭美浜はあとふる体験推進協議会
NPO法人はあとふる美浜ネットワーク

〒919-1122　福井県三方郡美浜町松原35-16-18
TEL 0770-32-2222　FAX 0770-32-2239
E-mail:wakasamihama@kl.mmnet-ai.ne.jp
URL http://heartful-mihama.com/

長野県・南信州

人の心温かく、瞳輝く時
感動体験南信州

南信州は中央・南両アルプスの間に天竜川が流れる巨大な谷であります。気候は信州地方では最も温暖であり、そこに住む人々の気質は大変穏やかなことが特徴です。当地域では飯田市が1996年から体験教育旅行の受け入れに取り組み、2001年に地元自治体と企業、団体の出資により当社が設立されました。体験プログラムは自然、環境、農業、味覚、伝統工芸、アウトドアスポーツなどさまざまな分野があり、種目数は180種目を数えております。

5月に咲き誇る梨の花

本物の体験は心をつなぐ一生の思い出

我々の基本的な理念は、地域に暮らす人々の生業やありのままの暮らしのなかに直接飛び込んで、援助や指導を受けながら利用者と受入者が体験を共にし、その体験交流を通して互いに感動し、高まり、そして人間関係の構築の好機となるものが本物の体験であるということです。

中でも農家民泊は南信州14市町村で約400軒の農家の協力を得て、毎年8千人前後の学生の受け入れを行っていますが、「野菜を食べるようになった」「息子が久しぶりにいろんなことを話してくれた」などと保護者の方からの御礼の言葉も数多く届いております。半日、1日、1泊と一つ一つのプログラムが側にとってもそうした学生たちの一生懸命交流しよう、体験しようという姿勢やちょっとした言葉がけになどに感動することが多く、それが受け入れを続ける動機付けにもなっております。

家族の一員になる民泊

信州そば打ち体験

信州名物五平餅作り

当地での農家民泊は1泊に限り、後（前）泊に当地の旅館を利用いただいておりますが、そのことが場面転換のメリハリが利いたスケジュールを実現し、出会いの尊さを際立たせることにもつながっています。一般家庭に入るわけですのでさまざまな制約はありますが、現在の若者たちに不足しがちな人間関係構築能力を高めるには絶好のプログラムです。

教育旅行の受け入れにあたって

現在この事業に協力いただいている方々は全体で千人を超えておりますが、いつも新鮮な気持ちで訪れる人々を迎えております。そして、安全にも気を付けながら、しっかりと体験をし、健全な交流ができること、教育旅行を受け入れるということは場所を変えて登校することにも等しいということを改めて確認し、安心して当地にお越しいただけるようさらなる体制強化に励んでおります。

田植え体験

株式会社南信州観光公社

〒395-0512　長野県飯田市育良町1-2-1
りんごの里内
TEL 0265-28-1747　FAX 0265-28-1748
URL http://www.mstb.jp/

奈良県・明日香村

古代、現代、そして未来
飛鳥悠久体感―ようこそ明日香村へ

明日香村は、中央集権律令国家の誕生の地として、飛鳥時代の宮跡や史跡が数多く「日本人の心のふるさと」とも称されています。

歴史的風土は、石舞台古墳、高松塚古墳、キトラ古墳などの古墳、飛鳥寺や岡寺などの寺院、万葉集に登場する飛鳥川・甘樫丘、富本銭が出土した飛鳥池工房遺跡など村の全域にわたって数多く存在しています。

歴史的文化遺産と、これらの周囲の自然的環境が一体となって形成されています。

この明日香村で守られてきた原風景や歴史、地域の生活に触れることにより、古代の息吹を体感し、ほんものの感動を味わうことができます。また、世界遺産登録を目指すこと飛鳥地域では、1300年以上も経た現在においても田園風景の地中に良好な状態で文化遺産が潜んでいます。

民家ステイで「日本のはじまりの地」を体感

民家ステイ（ホームステイ）体験

飛鳥ならではの民家ステイ体験は歴史文化、農林業、味覚、自然、伝統芸能などの体験プログラム、および民家ステイでの生活体験を通して、「日本のはじまりの地」でしか味わえない温かさとロマンを感じながら交流ができます。現在、明日香村をはじめ、高取町、橿原市、桜井市などの飛鳥地域では、民家ステイの登録家庭が130軒を超え、最大300人受け入れが可能となりました。

原風景の中での農作業

明日香村の豊かな大地でさまざまな農作業体験ができます。おいしいお米作りに欠かせない田植えや稲刈り。また、とっておきの名産品、明日香のイチゴ「あすかルビー」や、ブルーベリー、みかん、柿など。土作りから始まり、苗の手入れ、草刈りなど、1年を通して大切に育てられ、ようやくおいしい実を結びます。青空の下で充実した体験学習です。

あすか歴史探検隊

はじめに奈良県万葉文化館を見学。その後、奈良県立大学・地域創造学部生などから紙芝居形式の飛鳥歴史クイズなど、グループに分かれて学びます。また、謎に包まれたロマンあふれる飛鳥の歴史を語り合ったり意見を交換しあいながら楽しくディスカッションします。

歴史ガイドツアー

古代ロマン「飛鳥時代」の歴史話から、遺跡、自然などをレンタサイクルや徒歩で巡る体験ガイド。韓流ドラマやテレビドラマの舞台になるほど、世界的にも注目度の高い棚田風景や遺跡を見ながら、明日香村の今と昔を一緒に考えます。

バックヤード体感学習

普段は一般公開しない橿原考古学研究所バックヤード。ここは出土品の復元、図面作成や発掘現場に関わる調査技師のミーティングを行う心臓部にあたります。

発掘調査技師・スタッフの指導のもと、遺跡、古墳の発掘作業の成り立ちと発掘現場説明会や博物館での展示にいたるまでのプロセス、実作業を学び、いわゆる「ほんものの考古学」を体感します。（諸条件により出土品の復元作業も可）

歴史ガイドツアー

あすか歴史探検隊

ほんものの考古学体験

ステイ先で農作業体験

明日香ニューツーリズム協議会

〒634-0112　奈良県高市郡明日香村島庄5
（明日香村商工会内）
TEL 0744-54-1525・2068　FAX 0744-54-4570
E-mail:asuka@kcn.jp
URL http://web1.kcn.jp/asuka

滋賀県・近江日野

三方よし！近江日野田舎体験
近江日野田舎体験で心温まる、心高まる感動を
修学旅行コースの選択肢が広がる

私たちの町、近江の国（滋賀県）日野町は、県の南東部鈴鹿山系の西麓に位置します。人口は2万3千人、京野菜の一つ日野菜の原産地として、また、戦国武将・蒲生氏郷公の出生地としても知られ、江戸時代には行商で富を成した近江日野商人を輩出した町です。近江商人は、「売り手よし　買手よし　世間よし」の「三方（さんぽう）よし」の精神で商いに精励し、常に社会への還元を忘れませんでした。

三方よし！近江日野田舎体験は、この三方よしの精神に倣い、「迎えるもの（売り手）に自信と誇りの回復を！　地域（世間）に活力を！　訪れる人々（買い手）に心からの感動を！」を合言葉に、近江日野田舎体験にかかわる人々に農村生活体験を通した心温まる、そして、心高まる感動をお届けします。

農村生活体験を通した心高まる交流そしてお別れ

■おすすめプログラム

近江日野田舎体験のおすすめプログラムは、農村生活体験（民泊）と家業体験による「食育と心の平和教育プログラム」です。

民泊家庭軒数は150軒、1軒4人の受け入れを基本とし、連泊も可能です。家業おまかせプランは、受け入れ家庭の家業、生業、農村の営みをそのまま体験し、受け入れ家庭と常に行動を共にすることで、心の交流が深まります。受け入れ家庭ごとにさまざまな体験ツールを用意し組み合わせることから、1軒ずつ内容もスケジュールも異なります。さらに、食生産と調理、食することから「食」を学び、受け入れ家庭や生徒たち相互の交流を通して、心の豊かさ、心の平和の大切さを伝えたいと考えています。

伝承料理　鯛そうめん作り

竹細工体験

■古都の歴史文化学習と体験交流の両立プラン

日野町は、京都市から1時間半、奈良市、名古屋市からも2時間でお越しいただけます。また、名神高速道路、新名神高速道路の主要インターから町の中心部まで約30分と関西圏、中部圏との交通アクセスも大変便利です。

このような、立地の利便性から京都、奈良での歴史文化学習と、生徒個々の生きる力を育むための近江日野田舎体験「農村生活体験」との組み合わせは、数多くの学校にご支持いただいています。

今年で教育旅行の受け入れを始めて5年目となります。安全安心、そして、教育効果の高い受け入れに地域一丸となって取り組んでいます。

近江日野に住む者がこの地に生きる理由、誇りを語り、伝え、訪れる側、迎える側それぞれの人々が互いを認め合い、自分が存在することの意義、価値に気付き、明日の生きる力を得ることができる人と心が高まる旅、三方よし！近江日野田舎体験へのお越しをお待ちしています。

耕運機で畑を耕す

三方よし！近江日野田舎体験推進協議会
（日野町商工観光課内）
担当：福本修一・加納治夫・中森雅之・西河佳子

〒529-1698　滋賀県蒲生郡日野町河原1-1
TEL 0748-52-6562　FAX 0748-52-2043
E-mail kankou@town.shiga-hino.lg.jp
inakataiken@omi-hino.jp
URL http://www.omi-hino.jp/